



# しおかぜ



## 岩手県教区公認講習会に参加

7月7日(日)、岩手県営武道館で開催された「岩手県教区公認講習会」に宮城県より6名が参加しました。講師には、八戸東道院長の原宏先生で基本の大切さを再確認しました。



2024.07.07 岩手県教区公認講習会 宮城県教区参加拳士

## 古澤和夫 中拳士三段 87歳に！

塩竈道院の助教である古澤和夫 中拳士三段は、1937年7月2日生まれで、87歳を迎えました。

道院長と副道院長とで古澤さんの誕生日を塩竈市内の居酒屋で開催しました。緑内障による視力の低下はみられるものの元気な87歳の誕生日祝いとなりました。お誕生日、おめでとうございます。今後益々の活躍を期待しております。

## 大澤隆管長 縁起

願いを持つ

7月になりました。

七夕に向けて、多度津町内でもあちこちで子どもたちの願いごとが書かれた短冊を目にするようになりました。

開祖が指導者向けに執筆された少林寺拳法教範の第一編「金剛禅の主張と願い」の註には、「人間はつねに願いを心の中にもつべきである。願いを強くもてばどんなに苦しいくらいにでも耐え、突破することができるといえる。」「と力強い言葉が書かれています。

もちろん願いというのは書けば叶ったり、神仏が勝手に叶えてくれたりするものではありません。それを書いた本人の努力が大

事なのは言うまでもありませんが、短冊に願いごとを書くという行為そのものが大事だと思います。

自分が何を願っているのか、何を達成したいのかを言葉に表し、それを自分の内側に留めおかずに、人目に触れるようにすること。そうすることで強く自分自身に誓うことになり、その達成に向けて努力する姿を見た周りの方が応援してくれるようになるので、より叶いやすくなるのではないのでしょうか。

2024.07.03 古澤三段の97歳誕生日祝



今後の予定

- ◎ 7月21日(日) 9:00 ~ 特別稽古(塩竈道院専有道場)
- ◎ 7月26日(日) 18:00 ~ 僧階取得の為の勉強会(塩竈道院専有道場)
- ◎ 8月 4日(日) 9:00 ~ 宮城武専・昇格考試(青葉体育館)
- ◎ 8月10日(土) 9:30 ~ 少林寺拳法 全国少年錬成大会(日本武道館)
- ◎ 8月18日(日) 9:00 ~ 特別稽古(塩竈道院専有道場)



2024.07.07 八戸東道院 原宏先生と

また、個人の願いだけでなく「交通事故死ゼロ」、「災害のない社会」、「二度と戦争の起きない世界」のように、自分以外に対する願いというのもあります。私たち門信徒は決して社会に無関心であってはなりません。自分の幸せだけでなく、他者の幸せも考えられる人間に、そしてそれを達成するための手助けとなるのが日々の修行です。その継続がよりよい社会を実現していくことにつながります。

2024年も半分が過ぎました。まずは願いを持つことから、そしてその願いを実現させることによって平和で豊かな社会を自分



2024.07.03 古澤助士×佐藤副道院長

の周りから広げていきましょう。今月も共に金剛禅運動に邁進していきましょう。

中国古典 紹介

「信言は美ならず、美言は信ならず」

『老子』

真実味のある言葉は飾りけがない、飾りけのあることばは真実味がない、といった意味。これもまた「老子」の得意とする逆説的表現であるが、語られている内容はたしかにそのとおりであろう。ただし、実際問題として、信言と美言を聞き分けるのは、必ずしも容易でない。



2024.06.23 特別稽古での休憩に

たとえば美言の代表的なものに、お世辞がある。歯の浮くようなお世辞とか見えすいたお世辞、これはもう誰にでもわかる。もつと巧妙なお世辞になると、ついその気になつてしまうのが一般である。

しかし、お世辞は実害が少ないから、ま дай。問題は甘いことばにまどわされる ケースである。男女の関係になると、一生を台なしにされることもありうるし、金銭の問題になると、身ぐるみはがされてしま うことだつて少なくない。「美言は信ならず」『老子』のことばを肝に銘じておきたい ところだ。